

『自動車検査員教習試験 問題と解説 四国編 平成 29 年版』

お詫びと訂正のお知らせ

弊社出版物「自動車検査員教習試験 問題と解説 四国編 平成 29 年版」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本書の内容に誤りがございました。訂正箇所は下記のとおりになります。お詫びするとともに、訂正をお願い致します。

頁数等・内 容

143 ページ 第 2 章 保安基準 5. 自動車の騒音・排ガス関係

7 排出ガス等の発散防止性能（光吸収係数の測定方法）

[過去出題例]

誤 1. 排出ガス識別記号が LDA- (平成 21 年排出ガス規制車) の軽油を燃料とする普通乗用自動車について、無負荷急加速時に排出される排出ガスの光吸収係数をオパシメータで測定したところ、1 回目の測定値が 0.55m^{-1} 、2 回目の測定値が 0.8m^{-1} 、3 回目の測定値が 0.46m^{-1} であったため、これら 3 回の測定値を平均した値を当該自動車の排出ガスの光吸収係数として、保安基準適合と判断した。[28.2]

正 1. 排出ガス識別記号が LDA- (平成 21 年排出ガス規制車) の軽油を燃料とする普通乗用自動車について、無負荷急加速時に排出される排出ガスの光吸収係数をオパシメータで測定したところ、1 回目の測定値が 0.55m^{-1} 、2 回目の測定値が 0.48m^{-1} 、3 回目の測定値が 0.46m^{-1} であったため、これら 3 回の測定値を平均した値を当該自動車の排出ガスの光吸収係数として、保安基準適合と判断した。[28.2]

249 ページ 第 4 章 年度別試験問題 4-2. 平成 28 年度第 2 回 自動車検査員教習修了試問

[6]

誤 14. 排出ガス識別記号が LDA- (平成 21 年排出ガス規制車) の軽油を燃料とする普通乗用自動車について、無負荷急加速時に排出される排出ガスの光吸収係数をオパシメータで測定したところ、1 回目の測定値が 0.55m^{-1} 、2 回目の測定値が 0.8m^{-1} 、3 回目の測定値が 0.46m^{-1} であったため、これら 3 回の測定値を平均した値を当該自動車の排出ガスの光吸収係数として、保安基準適合と判断した。

正 14. 排出ガス識別記号が LDA- (平成 21 年排出ガス規制車) の軽油を燃料とする普通乗用自動車について、無負荷急加速時に排出される排出ガスの光吸収係数をオパシメータで測定したところ、1 回目の測定値が 0.55m^{-1} 、2 回目の測定値が 0.48m^{-1} 、3 回目の測定値が 0.46m^{-1} であったため、これら 3 回の測定値を平均した値を当該自動車の排出ガスの光吸収係数として、保安基準適合と判断した。